

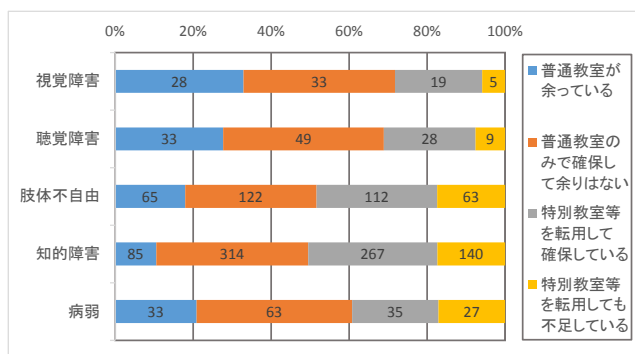
報告 3 施設設備

学校を運営する上で必要不可欠である、施設・設備についての調査を行った。
通常で利用する教室について、および災害時の耐震についての問いが中心となる。また、各施設で行われるスポーツ種別なども具体的に回答頂いた。

【50】あなたの学校において、普通教室の整備状況について、必要な普通教室数は確保されていますか。

《単一選択》

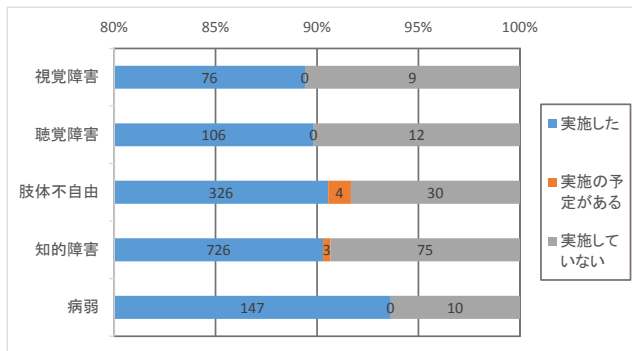
	普通教室が 余っている	普通教室の みで確保し て余りはな い	特別教室等 を転用して 確保してい る	特別教室等 を転用して も不足して いる
合計	200	480	342	181
%	(16.6)	(39.9)	(28.4)	(15)
視覚障害	28	33	19	5
%	(32.9)	(38.8)	(22.4)	(5.9)
聴覚障害	33	49	28	9
%	(27.7)	(41.2)	(23.5)	(7.6)
肢体不自由	65	122	112	63
%	(18)	(33.7)	(30.9)	(17.4)
知的障害	85	314	267	140
%	(10.5)	(39)	(33.1)	(17.4)
病弱	33	63	35	27
%	(20.9)	(39.9)	(22.2)	(17.1)



視覚障害、聴覚障害以外の種別では普通教室に余裕がない、特別教室等を転用しても足りない、という状況が生まれている。

【51】耐震診断は実施しましたか。《単一選択》

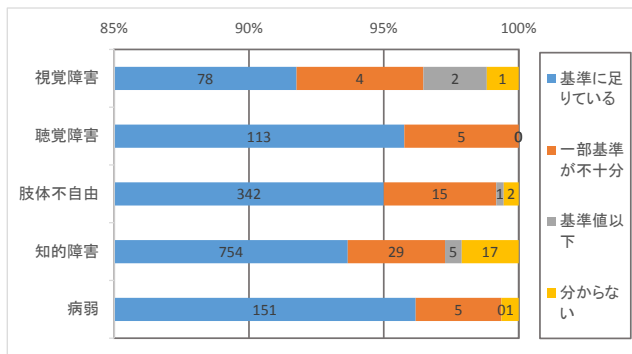
	実施した	実施の予定 がある	実施してい ない
合計	1082	4	112
%	(90.3)	(0.3)	(9.3)
視覚障害	76	0	9
%	(89.4)	(0)	(10.6)
聴覚障害	106	0	12
%	(89.8)	(0)	(10.2)
肢体不自由	326	4	30
%	(90.6)	(1.1)	(8.3)
知的障害	726	3	75
%	(90.3)	(0.4)	(9.3)
病弱	147	0	10
%	(93.6)	(0)	(6.4)



ほとんどの学校では実施がされている一方、100校以上、まだ実施がされていない状況である。

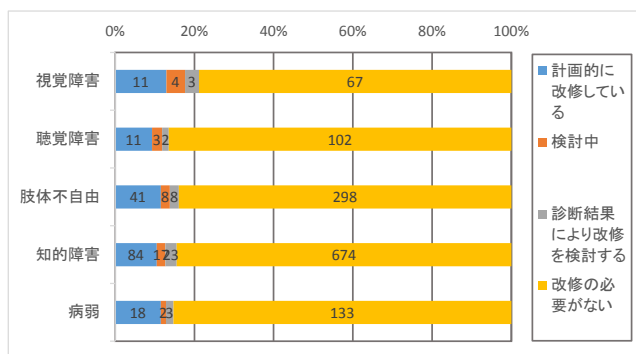
【52】校舎の耐震性は基準に足りていますか。《単一選択》

	基準に足り ている	一部基準が 不十分	基準値以下	分からない
合計	1133	39	7	20
%	(94.5)	(3.3)	(0.6)	(1.7)
視覚障害	78	4	2	1
%	(91.8)	(4.7)	(2.4)	(1.2)
聴覚障害	113	5	0	0
%	(95.8)	(4.2)	(0)	(0)
肢体不自由	342	15	1	2
%	(95)	(4.2)	(0.3)	(0.6)
知的障害	754	29	5	17
%	(93.7)	(3.6)	(0.6)	(2.1)
病弱	151	5	0	1
%	(96.2)	(3.2)	(0)	(0.6)



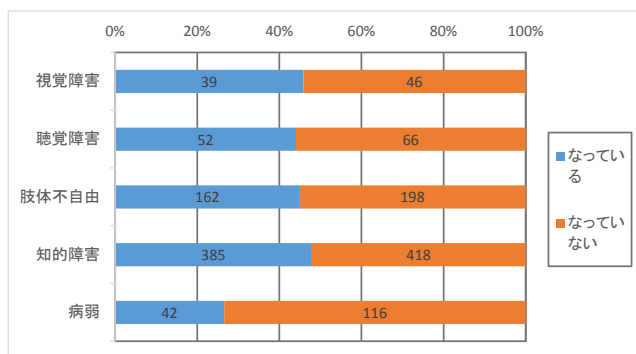
【53】耐震改修工事の予定はありますか《単一選択》

	計画的に改修している	検討中	診断結果により改修を検討する	改修の必要がない
合計	129	26	29	1004
%	(10.9)	(2.2)	(2.4)	(84.5)
視覚障害	11	4	3	67
%	(12.9)	(4.7)	(3.5)	(78.8)
聴覚障害	11	3	2	102
%	(9.3)	(2.5)	(1.7)	(86.4)
肢体不自由	41	8	8	298
%	(11.5)	(2.3)	(2.3)	(83.9)
知的障害	84	17	23	674
%	(10.5)	(2.1)	(2.9)	(84.5)
病弱	18	2	3	133
%	(11.5)	(1.3)	(1.9)	(85.3)



【54】学校は避難所になっていますか。《単一選択》

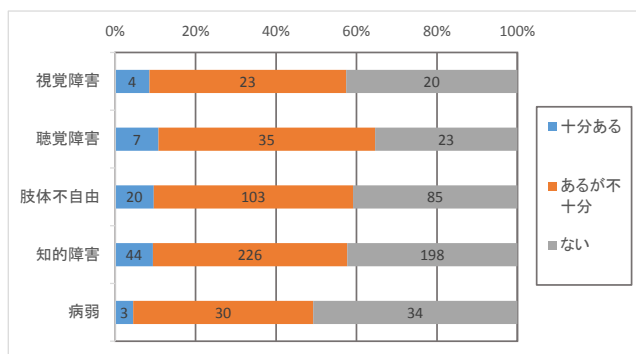
	なっている	なっていない
合計	532	665
%	(44.4)	(55.6)
視覚障害	39	46
%	(45.9)	(54.1)
聴覚障害	52	66
%	(44.1)	(55.9)
肢体不自由	162	198
%	(45)	(55)
知的障害	385	418
%	(47.9)	(52.1)
病弱	42	116
%	(26.6)	(73.4)



耐震について、一部基準に達していない学校もあるが、改修の計画がある、あるいは検討中の学校も多い。また、避難所としての役割を担っていない学校施設がほぼ半数以上ある。

【55】 避難所運営のための備蓄品が学校にありますか。《単一選択》

	十分ある	あるが不十分	ない
合計	63	322	281
%	(9.5)	(48.3)	(42.2)
視覚障害	4	23	20
%	(8.5)	(48.9)	(42.6)
聴覚障害	7	35	23
%	(10.8)	(53.8)	(35.4)
肢体不自由	20	103	85
%	(9.6)	(49.5)	(40.9)
知的障害	44	226	198
%	(9.4)	(48.3)	(42.3)
病弱	3	30	34
%	(4.5)	(44.8)	(50.7)

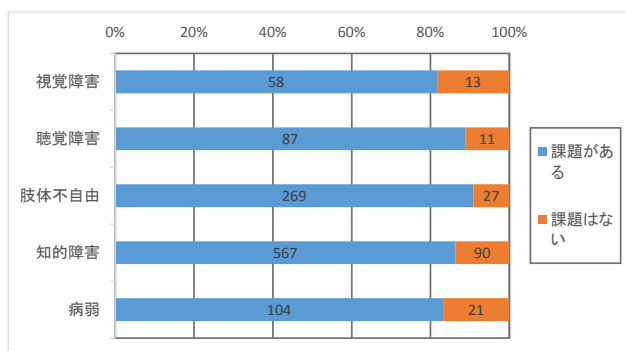


ほとんどが「不十分」、あるいは「ない」と回答。

【54】の避難施設になっていない原因の一旦とも考えられる。

【56】 障害のある方が安心して避難できるための課題はありますか

	課題がある	課題はない
合計	840	140
%	(85.7)	(14.3)
視覚障害	58	13
%	(81.7)	(18.3)
聴覚障害	87	11
%	(88.8)	(11.2)
肢体不自由	269	27
%	(90.9)	(9.1)
知的障害	567	90
%	(86.3)	(13.7)
病弱	104	21
%	(83.2)	(16.8)



■その他の内容

【視覚障害】

誘導や避難後の支援などに対応する人員がいない／福祉避難所でないため、施設設備や備蓄品等の整備が不十分である。／必要とされている方が利用できる保証がない。／備品類が整備されていない。／備蓄無し・医療的ケア施設備品貧弱・市街地から離れており緊急時に不便／備蓄品の確保、プライベートに配慮した小部屋、など。／備蓄品が足りない。／備蓄品がなく、非常用電源がない／備蓄品がない。／備蓄の内容・数量やバリアフリー化／避難所運営のための備蓄品の準備／避難所での対応（障害への理解）／電源、食料等の確保／津波等に対して十分な避難場所が確保できない／段差あり、スロープなし等／大災害の時の対応／設備や職員体制など整備が必要。／人数がわからない／食糧・日用品、居住スペース確保／障害者用トイレの不足／障害の無い方への対応／障害に特化した備蓄品が用意されていない。／宿泊用品等の不足／重複視覚障害者を安全に避難させる人員／受け入れ態勢が整っていない／車いす使用の生徒の移動／視覚特別支援学校におけるトイレ等の設備の不足／視覚障害者のための福祉避難所に指定されているが、市からの備品や食料の備蓄品は保管されていない／視覚障害以外の障害種の方が来られたときには対応ができない。／視覚障害・肢体不自由の児童生徒の2・3階から1階への避難／視覚障がい者は避難所の間取り、避難所付近の地理が分からず結局は危険な自宅で待機した方も多かった。福祉避難所が想定されている施設は、あらかじめ、視覚障がい者用の間取り図や付近の地図等を準備しておく必要がある。支援者も必要だが、できることは自分でできる、自立できる環境を整えることが大切と思われる。／肢体不自由には対応が困難／施設が老朽化しておりバリアフリー化も不十分

である。障害者用トイレ設備も不足している。／市町との連絡・連携体制／高台のため地盤に不安がある。／校舎4階建てだが、車椅子でも避難できるスロープが3階に備わっていないので、エレベーターが自動停止した場合の対応が懸念される。／建物の耐震性に問題がある。／空間の確保／具体的な運営計画の策定／環境は設定できるが、物品がほとんど準備できていない。／海岸に近く、海拔が低い／医療的ケアへの対応が難しい。／医ケア、トイレ、スロープの少なさ／移動の際の安全確保／移動が一番課題なので、行動援護者の確保／ペースの違いや感覚が独特等の特性から一般の方と一緒に場での避難は難しい／スペースの確保／エレベーターはあるがスロープがない。個別の静かな空間が必要な人への配慮ができない等。

【聴覚障害】

冷暖房設備やトイレの数／様々な物資等が無い／誘導や避難後の支援などに対応できない／文字による避難指示ができない／文字による情報伝達機器が常設されていない。／福祉避難所のため人数制限がある／福祉避難所となっているが、一般の方の理解が不十分。／福祉避難所として機能するための人員と物資／備蓄無し・医療的ケア施設備品貧弱・市街地から離れており緊急時に不便／備蓄品や毛布など整備していない。しかし、市の安全対策課からの搬入はある予定です。自然災害時発生直後の対応がスムーズに行えないかもと考えます。／備蓄品などの予算の裏付け／備蓄の内容・数量やバリアフリー化／備蓄、避難所運営／避難所としての広さが不十分。また、トイレ等設備も十分ではない。／避難所である3階体育館への停電時の移動／避難基準が未整理／避難してからの情報保証や、食料品の十分な確保等について、課題あり。／停電の場合階段のみの移動となる。／停電に対応できない、備蓄品の不足／津波等に対して十分な避難場所が確保できない／聴覚障害者への情報保障の充実／聴覚障害校のため、視覚障害や肢体不自由の方が避難された場合、施設設備面での不備がある／地域との協議が十分行われていない。／段差があることや緊急電源がないこと／対応できる人員／体育館段差解消、身障者用トイレ／体育館へ入るのにスロープがない／体育館は、2階にあるが、エレベーターがない。／人的配置、情報保障／身障者用トイレがないなど施設面からすべての障害種は受け入れられない。／情報保障 健常者とのすみ分けと協力／車いすの子どもの避難所への移動方法／実際の対応と学校の再開／実効性のある避難マニュアルや避難所運営マニュアルの作成／自治体との連携／視覚障害・肢体不自由の児童生徒の2・3階から1階への避難／市民の障がい理解／市より福祉避難所の指定されているが、災害時における本校職員の対応のあり方が不明確／校舎の背後の地盤が不安定である。／校舎が海岸に近く、安全に避難所まで避難するための手段や経路に課題がある。／空間の確保／強度行動障害や自閉症スペクトラム症の方たちへの配慮／環境は設定できるが、物品がほとんど準備できていない。海拔1m以内の場所にあるため、津波時の避難経路の確保が難しい。／海に近く津波対応時の避難に時間を要する／医ケアの経管栄養等、食材が不足／エレベーターはあるがスロープがない。／エレベーターが被災して使用不可／エレベーターがなく、体の不自由な方の2階への移動が大変である。／2階以上の古くなったサッシ窓の取り換え

【肢体不自由】

冷暖房、電源、医ケア、看護師、形態食／隣接する施設との連携／裏山が土砂災害危険個所／夜間の冷暖房／本校児童生徒のみのスペース／本校は知肢併置校の為、その他の障害種に対応するだけの設備、備蓄品の整備はされていない。／防災備品等の配備／保護者への引き渡し方法等／物品、医療体制、備

蓄品／福祉避難所指定のため備蓄品は、一般用はない。／福祉避難所や施設が整っていない／福祉避難所の協定を結んだばかりで、まだ、避難所運営マニュアルができていない／福祉指定避難所として備蓄倉庫と毛布、水、サバイバルフーズは備蓄し、防災無線を職員室内に設置しているが、今後の防災対策のための行政所管課との協議が必要である。／服薬、電源の確保、生活環境の変化／敷地の広い本校においては傾斜のある場所も多く、一人で移動することが困難な児童生徒、車いすを利用している児童生徒等の避難ルートや避難場所（地震、津波、原発別）について、さらに検討していく必要がある。／病院内分教室のため病院との連携／病院内分教室のため医療との連携／病院施設のため使用が限られている／病院の避難計画が示されていないこと／備蓄無し・医療的ケア施設備品貧弱・市街地から離れており緊急時に不便／備蓄品購入予算なし／備蓄品は児童生徒教職員分のみであり、避難所設営用の物資・備蓄品はない。／備蓄品の不備、市町との連携／備蓄品の確保・整備、県、市町村との連携、避難所の運営／非常用電源の確保（医ケア対応）／避難用品について現在本校児童生徒分を準備している段階であり、十分でない／避難生活を継続するための準備不足／避難場所までの高低差と道路横断／避難場所の確保／避難所契約を学校のある市と締結したが、具体的な整備はこれからである。／避難所として指定されている体育館の窓が強化ガラスではなく、また照明器具が地震の時落下してくる恐れがあると防災士に指摘された。／避難所として、障害のある方に対する配慮が十分に検討されていない。／避難所での生活／避難所での情緒の安定を図る方法やてんかんなどの薬の確保等。／避難時に児童生徒の介助をする教職員の確保／避難経路の安全確保／避難訓練の一層の充実／避難スペースが4階であるため、移動が容易でない。／避難したときの組織体制／発達障害者専用のスペース／発災時の移動手段 支援者の参集状況／配慮スペースの確保不足／入浴設備、保温用品／冬期間の避難経路の確保、冬期間の暖房の確保等／電源、食料等の確保／電気系統が止まってしまった時の対応／適切な食形態・アレルギー食対応、体調に配慮した空調設備、医薬に関する連携体制整備／適切な施設がない／定期的な服薬が必要な方への対応、安全な医療的ケア体制、備蓄品の対応／津波等に対して十分な避難場所が確保できない／長期避難への対応が不十分／長期の避難になった場合の教育活動との整合性／地域避難所に加えて、福祉避難所の機能も付加の予定／地域住民の理解／地域住民の避難との調整、避難所運営マニュアルの策定／地域住民とのすみ分け／地域との防災に係る連携／知的障害の児童生徒を対象に建てた学校なので肢体不自由者用に一部改修は入ったが、全体的に使づらい。／対応できるだけの準備が不可／設置場所が市街地から離れていることによる弊害（2次避難や支援）／水害の場合は機能しないこと／水がないときのトイレの確保／迅速な人的支援／人工呼吸器等の電源確保／寝具・備蓄品等の不足／食料だけでなく医療備品、衛生備品、マット類、簡易トイレなど／食料・飲料水等の備蓄品、寝る場所及び防暑・防寒対策、トイレ対策等／浄化槽のトイレがほしい。／場所の区分け等のマニュアルがまだない／障害特性に対する配慮／障害種に対応する施設設備／障害者及び大災害に対応した施設ではあるが、想定外の被害が発生した場合の対応。／障がい者とその多様性の理解と対応／重度重複障害の児童生徒が医療的ケアの実施を含め、安心して避難できる施設の確保が必要。／授業との両立／受け入れる施設設備がない。／車椅子の児童生徒が多いため、避難する際に人手が必要である。避難用の滑り台が児童生徒の障がいの状況に合わず、使用できない。傾斜地に校舎が建っているため、避難路が坂道であるうえ、自動車の往来もあり危険である。／車イス等のためのリフトがない／視覚障害・肢体不自由の児童生徒の2・3階から1階への避難／肢体不自由校であるがスロープがないため、状況によっては2階にいる生徒の避難が遅れる。／肢体不自由教育部門のスロープが災害時に本当に使えるのか、建物自体が古い物なので本当に安全なのか／施設面で不安がある。／施設設備の老朽化 本校生徒以外の避難者用の備蓄

食料や災害用物資がない／施設設備の関係から児童生徒数＋ α 程度のスペースしかない。(体育館等のスペースが小さい)／施設の老朽化／施設が小規模で、職員が対応できない／市民向け生活必需品の調達／市の福祉避難所として3名の受入となっているが、それ以上の避難者が出た場合の対応が課題／山間部にあるため、道路が狭い／行政との役割分担／行政との調整事項が数多い／校舎配置の課題から避難経路が複雑、傾斜地であるため移動に危険な要素が伴う／校舎の立地条件／校舎が広い、2階に上がるスロープが校舎の1番端にあるなど避難に時間がかかる。／呼吸器等の医療機器や暖冷房の空調に必要な電源が確保されていない 緊急時の医療機関との連携が確定していない 緊急時の衛生的な洗浄水、飲料水が十分確保できていない 個別対応が必要な方の居室不足、必要な備蓄品の確保／個別の空間の確保やライフラインが止まった時の対応／言動等への周囲の理解／教職員の支援体制(遠方の職員が多い)／幹線道路が1本しかなく混乱のおそれがある、要医療的ケア児童生徒への対応、電源確保等／学校敷地への導入路が1箇所しかない。／学校所在地の町に福祉避難所がまだ指定されていない／学校周辺が低地。夜間等の人的体制・対象者の選定など具体的な運営マニュアルが未作成。／学校自体が土砂災害の危険有／授業時に災害が起こった場合の地域住民の避難所運営と学校生徒の棲み分け。福祉避難所としての登録ではないため／運営の体制整備／雨漏り等／一般の避難所なので、障害者の避難について想定されていない。／一人で避難できないため支援の人数が不足している。／医療用品 酸素ボンベ／医療品、様々な食形態に対応した食料、トイレの完備、暖房の完備／医療的ケア等電源の確保／医療的ケア等重度の生徒への対応／医療的ケアの必要な児童生徒への医療対応。肢体不自由児の車いすや器具の置き場や、自閉症など個別スペースが必要な方が多い場合の空間確保など。／医療的ケアの必要な児童生徒が多く電源の確保、水や食べることが可能な者の確保、冬季の暖房の確保等／医療機器が年々増えそれを維持する電源の確保が難しい。個々のニーズが様々であるので必要なものを全体で準備しにくい。／医療機関との連携／ライフラインの確保／ユニバーサルトイレが不十分／マニュアル作成、開設までの時間／プライベート空間の確保が難しい／バリアフリー化／その場にいることができない状況が考えられる。医療的ケアの必要な児童生徒の対応。食事、トイレの対応等／スロープが一か所の為、出火場所によっては使えない。／スロープがない、敷地が狭い／すべての障害に対応できるとは限らない／スペース不足、医療的ケア体制／スペース確保や摂取できる食料備蓄／シャワー等、設備が十分でない／エレベーターやスロープが使用できなくなった場合の避難経路／3階からの屋根つきスロープが無い／2階からの避難経路、地域連携／24時間以上の避難生活は無理

【知的障害】

連絡方法等／冷暖房設備、視覚支援装置／隣接する児童福祉施設との連携の在り方。／裏山が土砂災害危険箇所／理解のある支援者の確保／落ち着ける空間、トイレ等の設備の充実／落ち着いていられる避難所がない。／落ち着いた避難行動／落ち着いた環境／要援護者の十分な支援方法／洋式トイレの確保／薬や電源の確保 毛布・食料等の備蓄／本校体育館は福祉避難所ではないので、障害がある方用にはできていない。／本校は避難する必要はないが避難前の安全確保について検討中／本校は知肢併置校の為、その他の障害種に対応するだけの設備、備蓄品の整備はされていない。／本校は一般のため避難所指定を受けている。福祉避難所ではない。／本校の児童生徒が本校に避難した場合、避難スペースが限られる／防災用品の不足／保護者等との連携した体制整備が不十分。備蓄品がない。／保護者への引渡し等／保護者の居住地が広範囲／併設する高校の管轄であり、分教室としては詳細は不明／分教室は高校内に設置されている／物資の確保、生活維持環境／物資、避難所運営のマニュアル／福祉避難所

指定のため備蓄品は、一般用はない。／福祉避難所開設・運営手順の整備／福祉避難所や施設が整っていない／福祉避難所の不足／福祉避難所の指定、関係機関との連携、人的支援体制の整備、災害時の対応マニュアルの作成／福祉避難所の協定を結んだばかりで、まだ、避難所運営マニュアルができていない／福祉避難所に指定されているが行政機関の具体的取組がない。／福祉避難所になっているが、バリアフリー構造になっていない。／福祉避難所としての周辺への周知／福祉避難所ではなく、風水害避難所として指定。／福祉避難所が指定されていない／福祉指定避難所として備蓄倉庫と毛布、水、サバイバルフーズは備蓄し、防災無線を職員室内に設置しているが、今後の防災対策のための行政所管課との協議が必要である。／服薬、電源の確保、生活環境の変化／普通高校内設置の為、障害に対する設備等がない。／敷地の広い本校においては傾斜のある場所も多く、一人で移動することが困難な児童生徒、車いすを利用している児童生徒等の避難ルートや避難場所（地震、津波、原発別）について、さらに検討していく必要がある。／敷地が狭く駐車場が十分に確保できない備蓄品が少ない／布団や食堂がないこと／病院施設のため使用が限られている／必要な備品等の不足／備品、消耗品の備蓄、人材、スペースなど／備蓄無し・医療的ケア施設備品貧弱・市街地から離れており緊急時に不便／備蓄品等が不十分 人数の把握が困難 スペースが狭い／備蓄品購入予算なし／備蓄品や冬季の対策／備蓄品や車イスなどの不足。バリアフリーでもない。／備蓄品は揃いつつあるが、まだ十分でない物品がある。／備蓄品の不備、市町との連携／備蓄品の不備／備蓄品の管理・マンパワー・避難方法／備蓄品の確保・整備、県、市町村との連携、避難所の運営／備蓄品の確保・受け入れマニュアル作成／備蓄品の確保、避難のための部屋の確保、備品の確保／備蓄品の確保 施設設備の改修／備蓄品がない。福祉避難所として指定してほしい。／備蓄品 トイレの整備／備蓄品／備蓄や非常用電源・暖房が準備されていない／避難方法、情報収集、避難所での生活支援／避難物資の整備 避難方法／避難待機時の児童生徒の過ごしせ方、医ケア対象児童生徒の看護師の手当／避難対応の設備が整っていない／避難先で配慮してもらうための周囲の理解／避難場所までの高低差と道路横断／避難場所の設置、物資の確保、医療機関との連携、情報共有／避難場所になっている体育館にトイレがない／避難所設営のスペース、避難者用の設備がない／避難所契約を学校のある市と締結したが、具体的な整備はこれからである。／避難所訓練ができていない／避難所環境への不慣れ／避難所運営体制、マニュアル他整備できていない。／避難所運営のための人材の配置／避難所運営、地域連携、備蓄管理／避難所まで、行けるかどうか心配である。／避難所に何が必要かが具体的にわからない。／避難所として指定されている体育館の窓が強化ガラスではなく、また照明器具が地震の時落下してくる恐れがあると防災士に指摘された。／避難所として求められる全体像が細部に亘り明らかにされていない。／避難所での情緒の安定を図る方法やてんかんなどの薬の確保等。／避難所での障がい者理解／避難後の対応／避難期間が延びた際の物資等の確保／避難できる場所が近くにない／発電機等の不備／発電、食料、温度調節／発達障害者専用のスペース／発災時の移動手段 支援者の参集状況／配慮スペースの確保不足／配慮が必要な方用の避難スペース／二次避難所となっており、充実させていきたい／道路横の側溝にふたがない／冬季の寝具等の確保、医療的ケアが必要な児童への対応／定期的な服薬が必要な方への対応、安全な医療的ケア体制、備蓄品の対応／通常の中学校の中にあるので特別な配慮はない／通常の小学校の中にあるので特別な配慮はない／通常の高等学校内にあるので、特別な配慮はされていない／通学時に被災した場合の避難方法／津波等に対して十分な避難場所が確保できない／長時間避難できる施設設備ではない／長期的な避難に対する備え／長期の避難になった場合の教育活動との整合性／長期の食糧、寝具、医療品の対応／駐車場が足りない／駐車場がない。／地域住民の避難所で、福祉避難所ではない／地域住民の避難との調整、避難所運営マニ

マニュアルの策定／地域住民と分けて収容できない／地域の防災体制に位置付いていない／地域の方と生徒の避難場所の区分け／地域の福祉施設の不足／地域の避難所の受け入れ方／地域の避難所ではあるが「福祉避難所」の指定は得ていない／地域の人たちも避難してきた場合、安心できる避難スペースが確保できるかどうか。／地域と学校との綿密な打ち合わせ／地域との連携／地域との防災に係る連携／地域での避難訓練を実施していないため、どのような状況になるか分からない／知的障害校のため、必要な施設設備に欠く。／知的障害の児童生徒を対象に建てた学校なので肢体不自由者用に一部改修は入ったが、全体的に使いつらい。／知的障がいのある学校であるため段差等が多々あり肢体不自由の方等には安心できる環境ではない。／段差などの施設設備面／段差あり、スロープなし等／段差、トイレ、非常用電源、オストメイトトイレなどの備品、物資や医薬品などの備蓄／単独通学中の安全確保／大勢の中にいることが苦手な児童生徒や、医療的ケアが必要な児童生徒への対応が課題。／対応マニュアルが不十分／対応できるだけの準備が不可／対応するスタッフの不足／体制、施設設備等が不十分／体育館以外の避難場所の検討／体育館へ入るのにスロープがない／体育館のみを避難所にしているが、備蓄食料がない。／体育館に仕切り用の壁になるものがない。／体育館が避難所に指定されているが、バリアフリー仕様になっていない／体育館が避難所だが、トイレの設備が十分でない。／体育館がなく、バリアフリー化されていないなど施設・設備の課題がある。／体育館が2階にあるので不都合／多様な障害に対応してはいない、二次避難の経路／多目的トイレ、バリアフリー／全面的なバリアフリー化／全体的な校舎の老朽化。体育館の次に広い多目的室の耐震化になっていないが、改修の見込みがない。(使用不可)／全ての障害とその程度に対応していない／全てにおいて課題がある／設備不足／設備備品が整っていない。／設備や備品等が十分整っていない／設備が肢体不自由者に対応していない／設備・物品が整っていない。／設備・物品、人員、地域とのすみ分け／設備、物資の不足／設備、物資が足りない。／設備、備品が不足している。／設備、備蓄品等が用意されていない・／静かにしてられない人がいる／生徒分の備蓄品しかない。／生活必需品等の備蓄品／人的配置／人的に職員だけでは不足する。／人的な対応／人員不足、環境整備／身障者トイレやバリアフリーの環境／心理的安定のための環境整備／寝具類・トイレ等／寝具不足／寝具・備蓄品等の不足／食糧などの備蓄が不十分／食料品等の備蓄品がない／食料品の備蓄 避難所開設の責任者 自治体との連携／食料等備蓄や医療用発電機の準備／食料や生活スペースの確保／食料・水・毛布等の備蓄が用意されていない。／食料、電源、暖房施設／食料、暖房器具、毛布、発電機等備蓄がない。一般の人と同じ環境での生活となる。／職員による対応、食料等の備蓄／浄化槽のトイレがほしい。／情報保障／場所の区分け等のマニュアルがまだない／場所の確保 周囲の人の理解 必要物資の確保／場所の確保／場所が狭く長くは避難できない／障害特性に配慮できる避難所の不足／障害特性に対する配慮／障害者用トイレの増設／障害者用トイレ、食料／障害者対応のトイレの不足、発電機の燃料の確保等／障害者の避難所の整備／障害者に対応する避難所が少ない／障害者が落ち着ける環境を作れない／障害の理解と受け入れ体制／障害の有無にかかわらず、避難生活を送る準備品はない。／障害の無い方への対応／障害の特性にかかわらず、すべての児童生徒が避難場所まで安全に避難できるための方策／障害のある方に対応する設備が整っていない中、地域の避難所として指定されているので、互いに認め合って過ごすことができるか。／障害のある方が安心して避難生活を送ることができる体制づくり／障害に応じた対応のできる人員の確保／障害に応じた施設設備／障がい者とその多様性の理解と対応／小学校内にあるため協力体制の共通理解／所在地が孤立しそうな場所である／宿泊を必要とした場合の医ケアなど特別な支援への対応等／重度障害者受入のノウハウ／重度重複障害の児童生徒が医療的ケアの実施を含め、安心し安全に避難できる施設の確保が必要。／

十分な物資や避難場所の確保／十分な備蓄品を備えていない。／十分な備蓄品の確保／十分な備蓄品がない／十分な検討ができていないこと。／十番な設備、備蓄品がない／十分な物資がない／集団生活が難しいので。個別のスペースを確保できない。／周知や訓練の不足。／周囲の理解／周囲に気兼ねすることなく、障害に応じた生活を保障できない／収容スペースや寒冷時の暖房、食料等／受入体制の確保／受け入れ人数と、具体的運営／車椅子利用児童生徒の安全な避難／車椅子児童生徒のスムーズな避難経路の確保／自閉症等の障害特性に施設面で対応できるのかが課題／自治体との細部協定がまだできていない。／児童生徒の安全確保のため窓が全開できない／視覚障害・肢体不自由の児童生徒の2・3階から1階への避難／視覚・聴覚障害の方の対応及び地域住民が避難してきたときの対処／肢体不自由教育部門のスロープが災害時に本当に使えるのか、建物自体が古い物なので本当に安全なのか／肢体不自由の方のためのエレベーターはないので、2階・3階への避難が困難。／肢体不自由に対応していない／施設設備的には一応障害のある人にも配慮されたものとなっているが、備蓄品がないこと、災害の種類によっては避難所としての位置が不安視されることなどがある。／施設設備の老朽化、立地条件が悪い／施設設備の老朽化 本校生徒以外の避難者用の備蓄食料や災害用物資がない／施設設備の関係から児童生徒数+ α 程度のスペースしかない。(体育館等のスペースが小さい)／施設設備が多様な障害に対応できる状態にないので実際に避難が行われたらどうするか。／施設運営や備蓄食、医療的ケアを必要とする人のケア等／施設の広さ、指示の確実な伝達／施設が狭隘／施設が狭い、学校の取り付け道路が狭い／市民向け生活必需品の調達／市や地域との連携(打ち合わせなど)は行われていない／市の福祉避難所運営の組織が曖昧／市の備品がなく、不十分である／市の指定避難所に指定されていない／山上にある学校なので道路の寸断。避難物資の確保。一般避難者の理解不足による配慮不足。など／坂道が多いため移動に不便／高等学校内の施設のため実際には不明／高等学校と校舎を共有しているため／高校内併設の学校であるため、障がい者用のトイレやエレベーターなどがなく／校舎配置の課題から避難経路が複雑、傾斜地であるため移動に危険な要素が伴う／校舎が狭い、市との具体的な内容検討／校舎が海岸に近く、安全に避難所まで避難するための手段や経路に課題がある。／個別の空間の確保やライフラインが止まった時の対応／個別のスペースを提供するには校舎が小さすぎる。／個に対応した備蓄品の整備、医療的ケアへの対応／言動等への周囲の理解／現在、校舎移転関係の工事中である。／健康面、安全面に対応できる物品不足 生命維持等、医療面に対する不安 支援スタッフの確保 気温や季節に対応した環境の設定 傾斜地にあるため、階段が多い。／空調設備、畳のスペース／狭い、施設の老朽、進入路／教室まで開放するか(個室等で)／教員が的確に判断をすること／救援人的体制、バリアフリー個別生活空間不足／基本、第2次的な避難所である／環境の変化に敏感な児童生徒への理解と対応不足／幹線道路が1本しかなく混乱のおそれがある、要医療的ケア児童生徒への対応、電源確保等／学校敷地への導入路が1箇所しかない。／学校所在地の町に福祉避難所がまだ指定されていない／学校周辺が低地。夜間等の人的体制・対象者の選定など具体的な運営マニュアルが未作成。／学校までのアクセスが困難／学校が災害危険地域にある。／外部からの避難者対応児童・生徒数増に伴う非常時の校内施設の活用／海拔1m以内の場所にあるため、津波時の避難経路の確保が難しい。／海に隣接している(60M)／介助等の人員の確保／授業時に災害が起こった場合の地域住民の避難所運営と学校生徒の棲み分け。福祉避難所としての登録ではないため／仮設校舎のため電気が止まると、季節により寒すぎたり暑すぎたりする。／仮設校舎のため、生活水の確保ができていない。／運営体制及びBCPの確立／運営にあたるスタッフの確保／稲美町と協定し、福祉避難所の位置づけだが対策が不十分／一般の避難所なので、障害者の避難について想定されていない。／医療面での支援体制が脆弱／医療的ケア関

連物品の確保／医療的ケアへの対応が難しい。／医療的ケアの必要な児童生徒への医療対応。肢体不自由児の車いすや器具の置き場や、自閉症など個別スペースが必要な方が多い場合の空間確保など。／医療ケア等を行うための機器電源の確保／医療ケア等に対する電源の確保／わかりやすい室名札／ライフラインが絶たれたときの対応／ユニバーサルトイレが不十分／ユニバーサルデザインになっていない。／マンパワーの不足／マニュアルが有り、研修を行っているが実際の有事にどれだけ対応できるかが課題である。／パニック等への対応／パニック状態の子どもの支援／パーソナルスペースの確保、暖房の利きが悪い。／その場にいることができない状況が考えられる。医療的ケアの必要な児童生徒の対応。食事、トイレの対応等／スクールバス通学途上での災害発生対応／サポートブック等の整備の必要性／エレベーターがなく、体の不自由な方の二階への移動が大変である。／エレベーター・スロープがない。／エレベーター／アレルキ?一食対応や自閉性の強い子らの環境変化不適應への対応／24時間以上の避難生活は無理／①安全に医療的ケアが実施できる場所の確保が課題である。②情緒障害・自閉症の方が避難所で落ち着いて生活できる場所・空間の確保が課題である。③避難所生活期間中における処方薬の確保が課題である。④食事に関して、ペースト食を与える道具一式の確保と衛生管理が課題である。

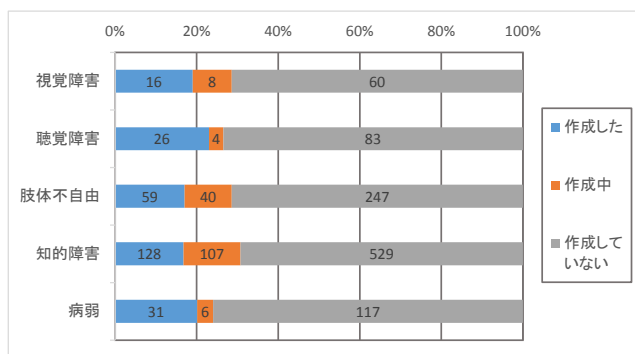
【病弱】

毛布等の物品の不足／防火扉の設置部の段差／物品、医療体制、備蓄品／複合ビルなので電気系統が心配／病院併設の学校なので単独では受け入れられない／病院施設のため使用が限られている／病院との連携／必要な備蓄品等が不十分である。／備蓄無し・医療的ケア施設備品貧弱・市街地から離れており緊急時に不便／備蓄品等の不足／備蓄品等についての市との連携、対応マニュアルの検／備蓄品等が不十分 人数の把握が困難 スペースが狭い／備蓄品の不足や避難場所になった時の運営マニュアルが未整備である。／備蓄品の整備は必要。／備蓄の内容・数量やバリアフリー化／非常用電源確保／避難場所に指定されているが、それほど広い校舎ではない。／避難所契約を学校のある市と締結したが、具体的な整備はこれからである。／避難所の開設を想定した訓練の実施／避難所として指定されている体育館の窓が強化ガラスではなく、また照明器具が地震の時落下してくる恐れがあると防災士に指摘された。／避難訓練の一層の充実／発達障害者専用のスペース／停電時の電力確保／通信手段、食糧など／津波等に対して十分な避難場所が確保できない／長時間の医療ケアのためのサポート／地域住民の理解／地域住民の避難との調整、避難所運営マニュアルの策定／地域の防災体制に位置付いていない／段差あり、スロープなし等／暖房器具や毛布が準備されていない／体育館が避難場所なので個別のスペースの確保ができない。／精神疾患のある生徒の受け入れ先／水道設備に問題がある／人工呼吸器等の電源確保／食料等備蓄や医療用発電機の準備／食料だけでなく医療備品、衛生備品、マット類、簡易トイレなど／浄化槽のトイレがほしい。／障害者向けの施設設備が整っていない／十分な備蓄品がない／周囲の方の障がい理解／車椅子利用者等への対応が不十分／視覚障害・肢体不自由の児童生徒の2・3階から1階への避難／肢体不自由校であるがスロープがないため、状況によっては2階にいる生徒の避難が遅れる。／施設がバリアフリー化していない／山の上にあるため移動等に不便／行政との役割分担／校舎が広い、2階に上がるスロープが校舎の1番端にあるなど避難に時間がかかる。／校舎が狭く、教室数も少ないため、安心して避難できる施設設備が十分に整っていない。／公共交通機関等を利用して2時間近くかけて通学している生徒がいるため、その間の避難訓練をどうするか等。／呼吸器等の電気機器用の電源確保／空間の確保／各地域での福祉避難所の整備／階段しかなく、スロープがない。／海岸に近く、海拔が低い／一般の避難所なので、障害者の避難について想定されていない。／医療的ケア等に係る電源等

の確保、病院との連携契約、暖房等室温管理、トイレ等の衛生管理や生活管理（衣食住） / 医療的ケアが必要な児童生徒への対応 / 医療的、精神的な支援の在り方 / ライフラインの確保 / ユニバーサルトイレが不十分 / パーソナルスペースの確保、暖房の利きが悪い。 / トイレ等施設設備が不十分、宿泊棟、布団等がない / サイレンが鳴った場合にパニックを起こす可能性のある児童生徒への対応 / エレベータが停止した場合のスロープの未設置 / エレベータが止まると車椅子の方も4階分階段でおりて避難することになる / 2階からの避難経路、隣接病院との連携の具体化 / 2階からの避難経路、地域連携

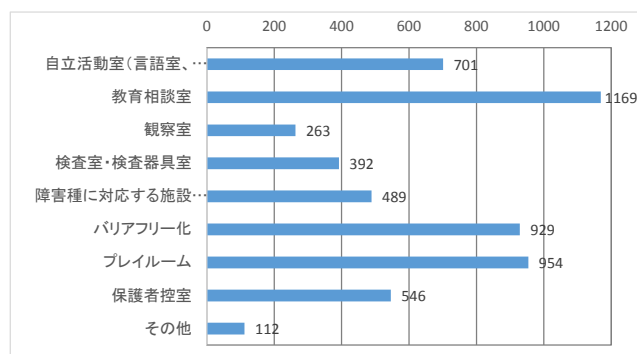
【57】 大災害発生後の学校再開プラン（BCP）を作成していますか。《単一選択》

	作成した	作成中	作成して ない
合計	216	142	790
%	(18.8)	(12.4)	(68.8)
視覚障害	16	8	60
%	(19)	(9.5)	(71.4)
聴覚障害	26	4	83
%	(23)	(3.5)	(73.5)
肢体不自由	59	40	247
%	(17.1)	(11.6)	(71.4)
知的障害	128	107	529
%	(16.8)	(14)	(69.2)
病弱	31	6	117
%	(20.1)	(3.9)	(76)



【58】 特別支援教育推進のための設備等が在りますか。《複数選択》

	自立活動室 (言語室、 運動感覚室 等)	教育相談室	観察室	検査室・検 査器具室	障害種に対 応する施設 設備	バリアフリー 化	ブレイルー ム	保護者控室	その他
合計	506	909	195	277	347	671	705	410	81
%	(45)	(80.9)	(17.3)	(24.6)	(30.9)	(59.7)	(62.7)	(36.5)	(7.2)
視覚障害	49	76	20	29	49	50	62	30	4
%	(58.3)	(90.5)	(23.8)	(34.5)	(58.3)	(59.5)	(73.8)	(35.7)	(4.8)
聴覚障害	71	102	39	101	72	52	86	75	5
%	(60.2)	(86.4)	(33.1)	(85.6)	(61)	(44.1)	(72.9)	(63.6)	(4.2)
肢体不自由	243	273	65	81	173	295	258	183	42
%	(69.8)	(78.4)	(18.7)	(23.3)	(49.7)	(84.8)	(74.1)	(52.6)	(12.1)
知的障害	286	608	121	153	150	418	465	212	46
%	(38.5)	(81.8)	(16.3)	(20.6)	(20.2)	(56.3)	(62.6)	(28.5)	(6.2)
病弱	52	110	18	28	45	114	83	46	15
%	(35.4)	(74.8)	(12.2)	(19)	(30.6)	(77.6)	(56.5)	(31.3)	(10.2)



■その他の内容

【視覚障害】

通級指導室／職業教育に必要な施設・設備・実習室を完備。／視覚保障のための器具の展示／視覚障害教育相談支援センター／支援室、治療室

【聴覚障害】

廊下等に字幕モニター設置／通級指導教室／聴力測定室／集団補聴システム／一部の障害種のみに対応している。／デモホーム

【肢体不自由】

理学療法室／理解推進室／病院内分教室のため病院から借りている／病院施設のため使用が限られている／地域支援棟／地域支援センター室 医療的ケアルーム／地域支援センター室／大型ディスプレイ・カーブミラー／多目的ホール／多目的（教育相談、小会議、控室等）室／水利用室、運動指導室／水治療室／進路指導室／新校舎を建築中／室内温水プール、暖房完備体育館／室内温水プール／自立活動室／支援センター室／教材展示室／教材製作室／教材ライブラリー室／機能訓練室／／温水プール、宿泊訓練棟／屋内温水プール、体育館床暖房／一部の障害種のみに対応している。／医療的ケア室／スヌーズ

レン室 天井つり遊具／スヌーズレン室／クールダウン室、作業棟／クールダウン室／エレベーター／
アクアルーム（水治療室）

【知的障害】

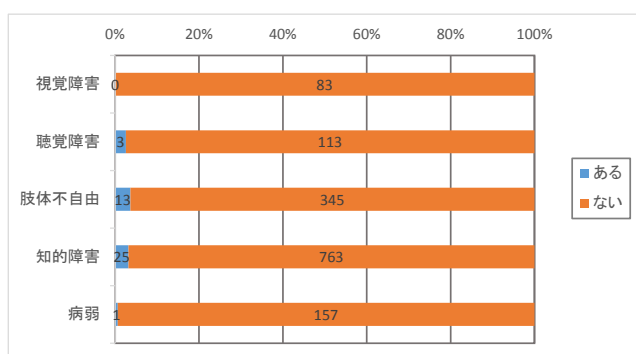
理解推進室／保護者控え室は別室等を供用して使用／普通教室に転用している／病院施設のため使用が
限られている／必要に応じ高校の部屋を借用／地域支援室／地域交流室／大型ディスプレイ・カーブミ
ラー／多目的教室／多目的（教育相談、小会議、控室等）室／相談室／専門教科を運営するための施設・
設備／設備がないので応接室等を転用して使用／生徒相談室／生活体験訓練室／進路指導室／新校舎を
建築中／小会議室等を随時、多目的に転用して使用／重心対応教室、看護師控室／室内温水プール／視聴
覚室／施設を改修して校舎使用しているため、生徒数に見合う設備になっていない。／支援センター室、
進路支援・生活支援室／作業室、畑／今年度、高等学校内に設置された分教室であり、分教室のスペー
スには上記の全てがない。／黒養ワークトレーニング社の名称で、模擬会社を校内に設置している。／
高校との共有施設である多目的ルームを教育相談室として活用／研修室、応接室／空き教室を活用した
自立活動室はあるが、教材等を含めて環境は十分といえない。／教材室／機能訓練室／既存の施設設備
で対応／温水プール、宿泊訓練棟／一部の障害種のみに対応している。／医療的ケア室／プレイルーム
等は、中学校と共用／ない／スヌーズレン室 天井つり遊具／スヌーズレンルーム／クールダウン室、
作業棟／クールダウン室／カウンセリング室／エレベーター／アクアルーム（水治療室）

【病弱】

病院内のため教室はなし／病院施設のため使用が限られている／通級指導室／地域支援センター室／大
型ディスプレイ・カーブミラー／水利用室、運動指導室／支援センター室／個別指導室／研修室、応接
室／教材室／機能訓練室／寄宿舍 看護室／学校所有ではないですが情短施設が相談室、観察室、プレ
イルーム等を設置／屋内温水プール、体育館床暖房

【59】インクルーシブ教育システム（障害のあるものとないものが共に学ぶ仕組み）の構築に当たって、先進的な施設設備がありますか。

	ある	ない
合計	33	1144
%	(2.8)	(97.2)
視覚障害	0	83
%	(0)	(100)
聴覚障害	3	113
%	(2.6)	(97.4)
肢体不自由	13	345
%	(3.6)	(96.4)
知的障害	25	763
%	(3.2)	(96.8)
病弱	1	157
%	(0.6)	(99.4)



【60】先進的な施設設備の概要をお答えください。

【聴覚障害】

- ・見える校内放送

【肢体不自由】

- ・隣接する高等学校とグラウンドを共有している。
- ・農業高校（専門高校）の隣接地に設置
- ・知肢併置校の特色を活かした手作りのカフェ
- ・小学校内に学校を併置
- ・小学校と併設であり、エレベーターの設置や構造のバリアフリー化がされている
- ・芝生グラウンド
- ・公立小学校の施設に県立とくべつる支援学校小学部の分教室が設置されている。施設設備予算は県予算。
- ・交流広場
- ・バスピット、全館平屋建て、バリアフリー、冷暖房完備
- ・「みんなの教室」という名の部屋

- ・本校と併設の中学校
- ・小中学校に本校が併設
- ・スノーズレン室、温水室内プール

【知的障害】

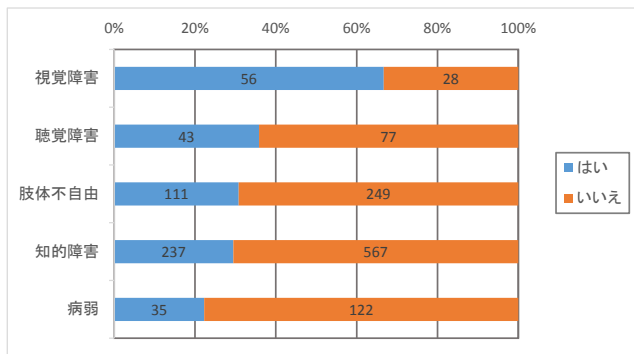
- ・隣接する高等学校とグラウンドを共有している。
- ・野外ステーション等
- ・本分校は、高校と併置された学校である
- ・馬天小学校内に本校小学部の分教室が設置され、学校・学年行事への参加、体育等教科学習における共同学習等を日常的に行っている。
- ・農業高校（専門高校）の隣接地に設置
- ・長崎県立壱岐高等学校の敷地内に学校があること。
- ・中之条町立中之条小学校と校舎が隣接し、渡り廊下でつながっている。
- ・地元の中学校でともに生活をしながら学ぶ
- ・地元の小学校の中にある分教室
- ・知肢併置校の特色を活かした手作りのカフェ
- ・小学部が小学校の敷地内にある。小学校と同じ校舎内で学んでいる。自由に行き来できる環境にある。
- ・小学校と併設であり、エレベーターの設置や構造のバリアフリー化がされている
- ・芝生グラウンド
- ・次年度4月より観測を開始する雲レーダー 全国6基ある最新降雨予測レーダーのひとつ。昇降口やPC室にリアルタイムで観測ができるディスプレイを設置。小中学校等の理科の授業でも活用できる。
- ・佐久総合技術高校内でともに学ぶ場
- ・高校の敷地内に特別支援学校分校があること自体が先進的
- ・公立小学校の施設に県立特別支援学校小学部の分教室が設置されている。施設設備予算は県予算。
- ・交流広場
- ・学校応援団が集会室を単独で利用できるようにしている
- ・壱岐市立盈科小学校の敷地内に学校があること
- ・バスピット、全館平屋建て、バリアフリー、冷暖房完備
- ・DAISY 図書閲覧 AV ブース
- ・「みんなの教室」という名の部屋

【病弱】

- ・遠隔教育用通信システム（テレビ会議）

【61】 学校施設を休日等に外部団体に障害者スポーツを目的に貸し出している

	はい	いいえ
合計	363	835
%	(30.3)	(69.7)
視覚障害	56	28
%	(66.7)	(33.3)
聴覚障害	43	77
%	(35.8)	(64.2)
肢体不自由	111	249
%	(30.8)	(69.2)
知的障害	237	567
%	(29.5)	(70.5)
病弱	35	122
%	(22.3)	(77.7)



【62】 障害者スポーツの競技名をお書きください(複数可)

【視覚障害】

陸上／盲人用野球／盲人野球／風船バレー／聴覚障害者バレーボール／知的障害バスケット／卓球／柔道／車いすバスケット／社会人サウンドテーブルテニス／社会人グランドソフトボール／ランニング／フロアバレーボール／ブラインドバレーボール／ブラインドテニス /ブラインドサッカー／ブラインド（野球）／フライングディスク／バスケットボール／トランポリン／ソフトボール／スルーネットピンポン／サッカー／サウンドテーブルテニス／ゴールボール／グランドベースボール／グランドソフトボール／クライミング／インディアカ／アダプテッドスポーツ全般／STT／FID バスケットボール／（知的）サッカー／（視覚）グランドソフトボール

【聴覚障害】

陸上／野球／風船バレー／軟式野球／聴覚障害者バレーボール／聴覚障害者が所属する社会人チームの野球／知的障害バスケット／卓球／車椅子バスケット／空手／陸上競技／フットサル／バレーボール／バドミントン／バスケットボール／デフバレー／テニス／ソフトボール／スペシャルオリンピック（バスケットボール）／サッカー／ゲートボール／グランドソフトボール／グラウンドゴルフ／インディアカ／FID バスケットボール

【肢体不自由】

和太鼓／陸上競技／野球／風船バレー／認定 NPO 法人スペシャルオリンピックス日本・神奈川／軟式野球／電動車椅子サッカー／聴覚障害者バレーボール／知的障害女子バスケット／知的障害者バスケットボール／知的障害者サッカー／卓球／水泳／心身障害者（児）体育大会／障害者フライングディスク／車椅子陸上競技／車椅子バスケット／車椅子サッカー／車いすダンス／車いすスラローム／室内グランドゴルフ／施設等の運動会／軽スポーツ／ローリングバレーボール／レク／ミニ運動会と称し、身体を動かす様々な活動／ボッチャ／フロアホッケー／ブラインドサッカー／フライングディスク／フットベースボール／フットサル／ハンドサッカー／バレーボール／バスケットボール／テニス／ティーボール／ダンス／ソフトボール／スポーツ吹き矢／スポーツ一般／スペシャルオリンピックス／スペシャルオリンピックス陸上競技／シッティングバレーボール／サッカー（OB チーム）／サッカー／ゴロ野球／グランドソフトボール／インディアカ／アーチェリー／T ボール／FID バスケットボール／50m 走 立幅跳び リレー

【知的障害】

和太鼓／立幅跳び／陸上競技／野球／風船バレー／風船バレー／認定 NPO 法人スペシャルオリンピックス日本・神奈川／軟式野球／電動車椅子サッカー／電動車いすバスケット／聴覚障害者バレーボール／聴覚障害者が所属する社会人チームの野球／知的障害者バスケットボール／知的障害者サッカー／卓球／体操／太鼓／水泳／身体障がい者野球／心身障害者（児）体育大会／障害者フライングディスク／障害者スポーツに限定していない／障害者サッカー／車いすホッケー／車いすバスケットボール／車いすスラローム／車いすサッカー／社会福祉法人の運動会／室内での野球やサッカー／室内グランドゴルフ

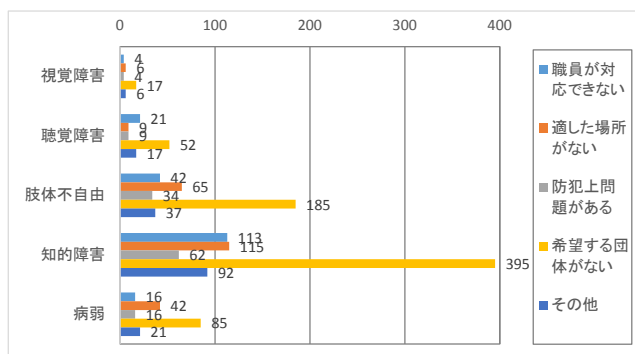
フ/施設等の運動会・レク/子どもの遊び場/軽スポーツ/空手/球技等/レクリエーション/レアルサッカー/リレー/リトミック/ランニングサークル/ボッチャ/ホッケー/フロアーホッケー/フロアーバレーボール/フロアーサッカー/ブラインドサッカー/フライングディスク/フットベースボール/フットサル/ハンドサッカー/バレーボール/バトミントン/バスケットボール/ニュースポーツ/トランポリン/テニス/ディスクッター9/ティーボール/ダンス/ソフトボール/スポーツ全般/スポーツ教室/スポーツ一般/スペシャルオリンピックバスケットボール/スペシャルオリンピックス陸上競技/サッカーフットベースボール/ゴロ卓球/クロスカントリースキー/グランドソフトボール/キッズサッカー、スペシャルオリンピック/キックベースボール/インラインスケート/インディアカ/アキュラシー/Tボール/FIDバスケットボール/50m走/(競技名ではないが)運動会

【病弱】

陸上/風船バレー/電動車いすサッカー/聴覚障害者バレーボール/知的障害者バスケットボール/知的障害バスケット/水泳/身体障がい者野球/心身障害者(児)体育大会/障がい者による太鼓の活動/車椅子バスケット/車椅子サッカー/車いすバスケット/社会人サウンドテーブルテニス/社会人グランドソフトボール/軽スポーツ/ランニング/ミニ運動会と称し、身体を動かす様々な活動/ボッチャ/フロアホッケー/フライングディスク/フットベースボール/ハンドサッカー/バレーボール/バスケットボール/テニス/ソフトボール/スティックバスケ(ホッケー)/サッカー/ゴロ野球/グランドソフトボール/インディアカ/アーチェリー/FIDバスケットボール

【63】貸し出していない理由(複数可)

	職員が対応できない	適した場所がない	防犯上問題がある	希望する団体がない	その他
合計	169	201	102	570	141
%	(20.5)	(24.3)	(12.3)	(69)	(17.1)
視覚障害	4	6	4	17	6
%	(14.3)	(21.4)	(14.3)	(60.7)	(21.4)
聴覚障害	21	9	9	52	17
%	(27.3)	(11.7)	(11.7)	(67.5)	(22.1)
肢体不自由	42	65	34	185	37
%	(16.9)	(26.2)	(13.7)	(74.6)	(14.9)
知的障害	113	115	62	395	92
%	(20.2)	(20.5)	(11.1)	(70.5)	(16.4)
病弱	16	42	16	85	21
%	(13.2)	(34.7)	(13.2)	(70.2)	(17.4)



■その他内容

【視覚障害】

制度が整っていない／施設開放委員会での検討／県の規定で光熱費や使用料徴収が必要／教育財産使用取扱基準に合致しないため／教育財産使用取扱基準に合致しないため／学校の特性上貸し出さない

【聴覚障害】

本校は部活動を実施しており、休日に施設を貸し出すことが困難でもある。／府の規定による／通常のスポーツを行っている障害者団体等に貸し出している。／中・高等部の部活動に使用している。／地域に一般に貸し出しているため／障害者スポーツに限定せずに貸し出している／施設開放委員会での検討／県有施設であり貸し出しに許可が必要／期日が学校行事と重なるため／基本は貸し出さないが特定関係団体に貸すことがある／学校の特性上貸し出さない／屋外トイレがない／異なる目的の団体への貸出実施中

【知的障害】

隣接する中学校が優先的に体育館を使用するため／来年度からの貸し出しに向けて準備中／本校は高等学校と併設していて、自校の体育施設はない／本校の部活動で使っている／併設の高等学校の部活が盛

んなため、休日に施設の空きがない。／府が現在モデル校で検討中／通いづらい／地域校のある分教室のため／地域のスポーツ団体が使用。希望する障害者団体があれば検討できる。／大阪府として原則許可していない／大学の規程により貸出制限があるため／貸し出せる施設を保有していない／貸し出し内容を特定していない。／貸し出しに係る要綱等が未整備／貸し出しにおいて依頼がない。／耐震工事のため／体育館自体が建設されていない／新設校で貸出をする準備が整っていないため。／小学校内に併設のため／自前の学校ではなく、市から借用している学校である／自校の部活動で頻繁に使用する。また他の特別支援学校と共用の体育館であるため、自校独自の判断が難しい。／施設開放委員会での検討／施設開放は、市教育委員会が窓口。現時点でおたずねの登録団体はない／施設の管理が基本的に隣接する盲学校にある／施設の悪性使用経験あり／市が施設開放の窓口となっている／今年度、来年度休日に工事が入っている。／国立病院機構釜石病院の施設／校舎全体が公民館施設だから／校舎が改築中で対応できない／更級農業高校内のため／広い運動場や体育館がない／県立学校施設開放事業を実施しているが、障害者スポーツに特化していない／県民向けに施設開放をしており、障害者団体だけを特別に対象としていない。／計画中／金井高校の施設を間借りしているため／近隣住民の反対／近隣の高校に体育館を貸している／教室以外、すべての施設が中学校の所有である／釜石高校の施設だから／学校施設の管理は併置されている小学校にある／開校初年度のため施設未整備／改築工事中でグラウンド、体育館がない／仮設校舎には体育館がないため、移転中は貸し出さない。／運動場、体育館が狭いため／サテライト校であるため／あづみ野分教室は南安曇農業高等学校に間借りしているため

【病弱】

要望がない／病院併設のため／他の団体が使用している／施設開放委員会での検討／施設で生活する児童生徒が優先／国立病院機構釜石病院の施設／感染予防。病院には貸し出している。／釜石高校の施設だから／学校の特性上貸し出さない／開校初年度のため施設未整備／一般向けに貸し出し／トイレが設置されていない

さいごに

スポーツ施設として、貸出を行っていない理由として施設の整備、機能が不十分なため、ということも挙げられている。

いろいろなスポーツ競技に利用されている一方、施設設備としての問題点も浮かび上がる結果となった。

【本集計に関する特記事項】

※1校で「障害種別」を複数回答されている為、各障害種別の「合計」と、「回答校数合計」の数量は一致しません。

※複数回答されている設問のため、各設問の「合計」と、「回答校数合計」の数量は異なります。